

みずほマーケット・トピック(2020年3月6日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

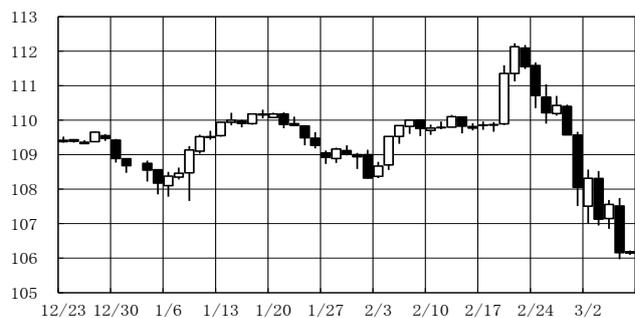
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場はドル安が進む展開。週初2日に107円台後半でオープンしたドル/円は、週末に発表された2月中国製造業、サービス業PMIの結果を受け景気下押し圧力が強まり下落するも、日銀によるETFの買入れ発表を受け、日経平均が堅調に推移すると一時週高値の108.57円まで回復した。その後米金利が下落し、米株先物が失速する動きを受けて、107円台半ばまで反落したが、3日のG7財務相電話会談に中銀メンバーが参加するとの報道に追加緩和期待が高まると、米株が急激に買われ、NYダウ平均が1290ドル超上昇し、ドル/円も108円台半ばへ上昇した。3日は、G7財務相電話会談にて協調利下げや財政出動を伴わない方向で調整されるとの報道から日経平均が下落し、107円台半ばまで下落。その後、臨時のFOMCにて50bpの緊急利下げが発表されると、米株が買われドル/円も上昇したが長続きせず、パウエルFRB議長が景気不透明感を述べ、また、米10年債利回りが1.0%を割り込む動きを受けて、107円を下抜けた。4日は、前日の米株安を受けて続落したが、その後スーパーチューズデーにてバイデン氏優勢の報道を受けて107円台半ばまで回復した。5日は、新型コロナウイルスへの懸念から、NYダウ平均は続落し、米金利が0.9%を下回る流れを受け、一時週安値の105.97円まで下落した。本日は昨日の安値圏での推移が続いている。
- 今週のユーロ/ドル相場は週後半に1.12を上抜ける推移。週初2日に1.11台前半でオープンしたユーロ/ドルは米金利が過去最低水準で推移するなか、1.11台後半まで上昇した後、米金利が徐々に戻る動きに1.11台前半まで反落した。3日は、FRBの緊急利下げの発表を受け、一時1.12台前半まで急伸したが、買い一巡後、米金利が1.0%を上回る動きに1.11台後半まで反落した。4日は、ユーロ/円の下落到連れ安となり、一時1.11を下抜けた後、徐々に値を戻し1.11台前半で小幅に推移した。5日は、株式市場の軟調な推移を受けて下落したが、米金利の低下からドル売りが加速し、1.12台に突入すると、一時週高値の1.1245まで上昇した。本日は1.12台前半での推移が続いている。

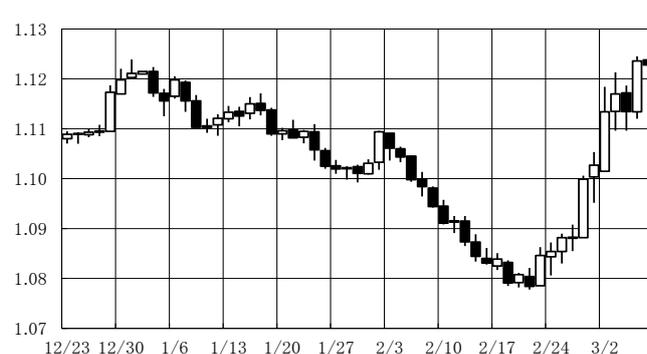
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		今 週				
		前週末 2/28(Fri)	3/2(Mon)	3/3(Tue)	3/4(Wed)	3/5(Thu)
ドル/円	東京9:00	109.63	107.69	108.52	107.08	107.71
	High	109.68	108.57	108.53	107.69	107.74
	Low	107.51	107.00	106.93	106.85	105.97
	NY 17:00	108.05	108.32	107.13	107.56	106.16
ユーロ/ドル	東京9:00	1.0996	1.1052	1.1144	1.1177	1.1140
	High	1.1053	1.1185	1.1213	1.1186	1.1245
	Low	1.0951	1.1010	1.1095	1.1096	1.1120
	NY 17:00	1.1027	1.1134	1.1170	1.1135	1.1236
ユーロ/円	東京9:00	120.57	119.05	120.90	119.65	119.93
	High	120.65	120.74	120.93	120.12	120.00
	Low	118.40	118.10	119.55	119.03	119.01
	NY 17:00	119.25	120.60	119.75	119.74	119.30
日経平均株価	21,142.96	21,344.08	21,082.73	21,100.06	21,329.12	
TOPIX	1,510.87	1,525.87	1,505.12	1,502.50	1,515.71	
NYダウ工業株30種平均	25,409.36	26,703.32	25,917.41	27,090.86	26,121.28	
NASDAQ	8,567.37	8,952.17	8,684.09	9,018.09	8,738.60	
日本10年債	-0.16%	-0.14%	-0.12%	-0.14%	-0.11%	
米国10年債	1.16%	1.15%	1.00%	1.05%	0.91%	
原油価格(WTI)	44.76	46.75	47.18	46.78	45.90	
金(NY)	1,566.70	1,594.80	1,644.40	1,643.00	1,668.00	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、今晚 6 日(金)に 2 月雇用統計が発表される。前回 1 月の非農業部門雇用者数は前月比 +22.5 万人と事前予想(同+16.5 万人)を上回った。また、民間部門雇用者数は同+20.6 万人とこちらも市場予想(同+15.5 万人)を上回った。内訳を見ると、暖冬の影響で建設業の雇用者数が増加したほか、教育及び医療サービスの雇用者数の伸びが目立った。一方、製造業は自動車・自動車部品関連の雇用者数が減少し、全体で前月比▲1.2 万人の減少となった。また、失業率に関しては、3.6%とほぼ前月並みで、生産年齢世代の労働参加率は前月比改善して 83.1%を記録した。他方で、平均時給の伸びは前年比+3.1%と 1 月から横ばいの推移となった。なお、ブルームバーグの予想では 2 月の非農業部門雇用者増加数を同+17.5 万人と見込んでいる。また、2 月平均時給は前年比+3.1%で横ばいの推移を見込む。失業率についても前年比 3.6%と 1 月から横ばいの推移が予想されている。
- 欧州では、12 日(木)に、ECB 政策理事会が開催される。前回会合では現行の金融政策の維持が決定され、政策金利の据え置きが発表されたほか、量的緩和政策の規模も維持される意向が示された。加えて、現行の金融政策を総点検することが決定し、低インフレで大規模緩和が長期化するなか、一時的に物価上昇率 2%超えを容認できるような物価目標設定の見直しや、マイナス金利下での潜在的な副作用についても議論していくことが発表された。また、中銀としての気候変動リスクへの対応に関する方針にも注目が集まった。今回会合については、金融政策の点検状況が焦点となる。そのほか、新型コロナウイルス感染拡大によって、各国市場で日々乱高下が続く現況を踏まえ、今週 3 日(火)G7 共同声明にて主要国が協調的な政策運営をする方針が示された。FRB は同日、臨時の FOMC を開催し、▲0.5%の利下げを決定したが、本件に関しての ECB の対応にも注目が集まる。

	本 邦	海 外
3 月 6 日(金)	・1 月景気動向指数(速報) ・1 月家計支出	・米 1 月貿易収支 ・米 2 月雇用統計
9 日(月)	・10~12 月期 GDP(確報) ・2 月景気ウォッチャー調査	・独 1 月経常収支/鉱工業生産
10 日(火)	・2 月工作機械受注(速報)	・米 2 月 NFIB 中小企業楽観指数 ・ユーロ圏 10~12 月期 GDP (確報)
11 日(水)	—————	・米 2 月 CPI ・米 2 月実質平均時給/実質平均週賃金
12 日(木)	・2 月東京オフィス空室率	・米 2 月 PPI ・ユーロ圏 ECB 政策理事会
13 日(金)	—————	・米 2 月輸出物価指数/輸入物価指数 ・独 2 月 CPI(確報)

【当面の主要行事日程(2020 年 3 月~)】

ECB 政策理事会 (3 月 12 日、4 月 30 日、6 月 4 日)
 米 FOMC (3 月 17~18 日、4 月 27~28 日、6 月 9~10 日)
 日銀金融政策決定会合 (3 月 18~19 日、4 月 27~28 日、6 月 15~16 日)
 G20 財務相・中央銀行総裁会合(4 月 16~17 日、7 月 18~19 日)

市場営業部
 チーフマーケット・エコノミスト
 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2020年3月5日	欧州難民危機再び?~「見えない脅威」と「見える脅威」~
2020年3月4日	不要不急の利下げで自滅したFRB
2020年3月3日	各国政府・中銀の政策協調姿勢を受けて
2020年3月2日	最強通貨に返り咲いた円~年初来変化率がプラスに~
2020年2月28日	週末版(メインシナリオに関するリスク点検~疫病的リスク、米利下げ、円高~)
2020年2月27日	健在だった「安全資産としての円買」と加速する悲観
2020年2月21日	週末版(忌避されるユーロ~通貨安政策として先鋭化するマイナス金利政策~)
2020年2月20日	円急落は「日本売り」の結果なのか?
2020年2月19日	危機モードが続く為替市場と無国籍通貨「金」の上昇
2020年2月18日	ユーロ圏経済の現状~中国とユーロ圏が風邪を引くと...~
2020年2月14日	週末版
2020年2月13日	それほど信頼できない「3月円高説」の実情
2020年2月12日	流動化し始めたドイツ政局~メルケル退陣まで1年半余り~
2020年2月10日	良好な雇用統計が浮き彫りにした市場の「甘え」
2020年2月7日	週末版(上がりそうにない原油価格~3つの理由と共にドル/円相場への含意を考える~)
2020年2月6日	改善が続く企業マインドをどう読むべきか
2020年2月4日	債券相場の現状と展望~遠すぎる物価「2%」~
2020年2月3日	プレジデントQ&A~アイルランド問題から漁業権問題へ~
2020年1月31日	週末版
2020年1月30日	FOMCを終えて~新型肺炎リスクと減速軌道の米国~
2020年1月29日	メインシナリオに関するリスク点検
2020年1月28日	デジタル通貨を巡る4大勢力~群雄割拠を読み解く~
2020年1月27日	疫病的リスクと金融政策への影響などについて
2020年1月24日	週末版(ECB政策理事会を終えて~やや先走り感のあるラガルド総裁~)
2020年1月22日	日銀金融政策決定会合~「政熱経冷」という連~
2020年1月21日	ECB政策理事会プレビュー~底打ち機運に乗り静観~
2020年1月20日	米大統領選挙と為替~潜む一抹の不安~
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年12月分)
2020年1月17日	週末版
2020年1月15日	「1998~99年」との違いはどこにあるのか~その②~
2020年1月14日	中国の為替操作国認定解除を受けて~ドル売り介入の催促~
2020年1月10日	週末版(「調達通貨は円よりユーロ」の答え合わせ~中東リスクを前に~)
2020年1月9日	予防的利下げの成否~「98年型利下げ」と「99年型利上げ」~
2020年1月8日	軍事衝突と原油高への考え方~円高は不幸中の幸いか?~
2020年1月6日	2020年、レンジ脱却に必要なもの~その②~
2019年12月25日	2020年、レンジ脱却に必要なもの
2019年12月24日	2020年の想定外はどこにあるのか?~6つの論点~
2019年12月23日	スウェーデン、マイナス金利解除の読み方~2020年への示唆~
2019年12月20日	週末版
2019年12月19日	米大統領選挙の左派リスクは2020年の波乱要因か?
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年11月分)
2019年12月18日	やはり上げを失った債券相場~政治も金融も債券の足枷~
2019年12月17日	日銀金融政策決定会合プレビュー
2019年12月16日	英総選挙を終えて~「次の山」は2020年6月末に~
2019年12月13日	週末版(ECB政策理事会を終えて~フクロウ型総裁の「人となり」~)
2019年12月12日	FOMCを終えて~「タカ派的利下げ」から「ハト派的現状維持」~
2019年12月11日	円の基礎的需給環境~基礎収支に映る変化~
2019年12月10日	道標を失った為替市場~マイナス金利解除がキーに?~
2019年12月9日	英国総選挙の論点整理~事実上、「2度目の国民投票」~
2019年12月6日	週末版(2019年の為替市場を概観する~円は結局強かった~)
2019年12月5日	ECB政策理事会プレビュー~デビュー戦、3つの見どころ~
2019年12月3日	ドイツ政局の流動化について~メルケル退任まであと2年~
2019年12月2日	金融政策に環境配慮は必要か?~制御すべきは気候ではなく物価~
2019年11月29日	週末版
2019年11月26日	円安リスクの点検~「ツケ」が怖い2020年~
2019年11月25日	名目実効為替相場(NEER)で読む2019年のドル相場
2019年11月22日	週末版(ドラギ元総裁、最後のECB政策理事会議事要旨~「結束(unity)」と財政政策~)
2019年11月20日	「ドル化した世界」で進む「金融政策の一本化」
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年10月分)
2019年11月19日	ドイツは底打ちしたのか?~リセッション回避も残る不安~
2019年11月18日	「株値の虜」と「予防的緩和」について考える
2019年11月15日	週末版(ラガルド体制の「overhaul(刷新)」ミッションの行方~総裁会見と投票方式について~)
2019年11月14日	欧州の「弱さ」源泉~輸出拠点が裏目にたドイツ~
2019年11月13日	円高予想の誤算と「ドル化した世界」という悩み
2019年11月12日	動かない相場の背景にある「円の不人気」
2019年11月11日	「公的デジタル通貨 vs. リブラ」の様に
2019年11月8日	週末版
2019年11月1日	週末版
2019年10月30日	ラガルド新ECB総裁を巡る3つの論点
2019年10月29日	円安リスクの点検~欧州・中国の復調はあるか?~
2019年10月28日	ドラギ総裁最後のECB理事会~危機の「生き字引」~
2019年10月25日	週末版
2019年10月24日	またも史上最小値幅~体感「5円」以下という異例~
2019年10月23日	「リブラ」阻止で一致するG20~ザッカーバーグ証言を前に~
2019年10月21日	思い出したい「10月31日」の経緯~次に起こることは~
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年9月分)
2019年10月18日	週末版(2度目の離脱協定案合意~3つの論点を整理~)
2019年10月16日	FRBのTB購入を受けて~欲しかった「ずる賢さ」~
2019年10月11日	週末版(ECB政策理事会議事要旨を受けて~議論紛糾の読み方、議事要旨としては秀逸~)
2019年10月10日	円相場の需給環境について~縮小均衡~
2019年10月9日	FRBの資産購入再開と懐かしのソロスチャート
2019年10月8日	揺らぐリブラ計画~初のメンバー脱退表明を受けて~
2019年10月7日	米9月雇用統計を受けて~「思ったより悪くない」の危うさ~
2019年10月4日	週末版(製造業から非製造業への波及は始まったのか~ISM景気指数の悪化を受けて~)
2019年10月3日	ユーロ圏の物価情勢の現状と展望~日本化の過渡期?~
2019年10月2日	ISM製造業景気指数の「底」は見えそうか?
2019年9月27日	週末版(三度起こった「ドイツの乱」~ラウテンシュレガーECB理事辞任の読み方~)
2019年9月26日	円安リスクの点検~財政政策というアップサイドリスク~
2019年9月25日	為替相場の現状を概観する~REERを通して見えること~
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年8月分)
2019年9月24日	「羊頭狗肉」化するマイナス金利政策